

「道と川の駅 花ロードえにわ」にサイクルラックと空気入れを設置

「花ロードえにわ」は、国道36号線と漁川の交差点に位置する道と川の駅です。漁川の河岸には多目的広場（ウォーターガーデン）があり、花と川に囲まれた道内でも有数の道の駅です。石狩川流域46市町村の首長で構成する石狩川流域圏会議は、サイクルツーリズムの振興に力を入れており、「花ロードえにわ」には多くのサイクリストが訪れていることから、石狩川振興財団は、6月23日、「花ロードえにわ」を管理する恵庭市にサイクルラック2台と空気入れ1台を寄贈しました。サイクリストにとって、道の駅が憩いの場になるよう、当財団も引き続き協力していきます。



写真 左から
田中（財団）、森田（財団）、野呂氏（恵庭市）、薬袋氏（花ロードえにわ）、小館氏（恵庭市）
ラックに架かっている自転車は小館氏の愛車（キャノンデール）

サイクルラックは組み立て式で、自転車は最大5台まで架けられます。冬季はコンパクトに収納できます。空気入れは、ロードバイク（フレンチバルブ）、普通の自転車（イングリッシュバルブ）に対応できます。